

2年生 「かがり火」 講話に向けた調べ学習

2年【 】組【 】番 氏名【 】

1年生では、自分たちと長良川（中流）の関係について学びました。また、2年生になってからは「日本に関わる河川や海洋の問題について」自分でテーマを決めてまとめてきました。さて、ここからは、「長良川はなぜきれいなのか？」というテーマのもと、長良川の上流に視点を移して学習していきたいと思います。早速ですが、10月13日（火）の5・6時間目に長良川の上流に関わっての講話を聞きます。そこで、下記のキーワードについて調べたり、質問を考えたりしましょう。質問は5個以上かけるとよいです。なんとなく講話を聞くのではなく、ある程度の知識や疑問をもって聞けるようにしましょう。

○「郡上の森を守る（元気にする）取組」について

（この部分は回答用のスペースです。）

○「農業遺産」について

（この部分は回答用のスペースです。）

○「長良川システム」について

[Large empty rectangular box for writing about the Nagara River System]



☆疑問に思ったこと、質問したいことをまとめよう（5個以上書けるとよいです）

[Large empty rectangular box for summarizing questions or thoughts.]

かがり火 質問まとめ

○郡上の森関係

- ・いつごろから行われているのか
- ・きっかけは（郡上の森にスポットがあたった理由）
- ・郡上の森を守る取組の成果は
- ・郡上森林組合の具体的な活動内容は、また、これあることでどうなっているのか
- ・木を植えることが川の整備とどう関係しているのか
- ・森を整備すること（植林や枝打ち）はどれくらいの頻度が必要なのか
- ・天然林と人工林の比率は
- ・どれくらいの人が携わっているのか
- ・森林づくり推進会議にはどのような人が参加しているのか
- ・郡上の山にはどれくらいの生物がいるのか
- ・森を整備することと川を守ることの関係性とは

○農業遺産関係

- ・農業遺産が制定された理由（きっかけ）は
- ・なぜ長良川が世界農業遺産に指定されたのか（経緯など）
- ・世界農業遺産に登録されているのに、なぜ日本農業遺産にはなっていないのか
- ・農業遺産に認定されたことで観光業の変化はあったか
- ・世界農業遺産国際シンポジウムとは何か

○長良川システム関係

- ・長良川システムが確立するまでの経緯は
- ・広めるために行われている活動はあるか
- ・長良川システムの現状、変化
- ・長良川システムは誰が行っているのか
- ・鮎の孵化放流は大変か
- ・世界的に見て、長良川はどれくらいきれいなのか
- ・他の地域にもこのようなシステムはあるのか
- ・御料鵜飼とは
- ・長良川システムと伝統工芸の関係は
- ・上流域での取組は聞いたことがあるが、中流・下流域でもイベントや取組はあるのか

○その他、講師に直接

- ・森林を守るためにに行っていることは
- ・「ランドスケープ」「シースケープ」とは何か
- ・岐阜の伝統的な農林水産業の営みとは

- ・地域民としてできるボランティア活動などはあるか
- ・どのようにしたら市民の意識を高められるか
- ・「川の資源を守る」と言っているのに鮎を獲ってよいのか
- ・現在の取組を行う上でのモットーは
- ・「水舟」について詳しく知りたい
- ・お金になる（儲かる）のか
- ・現在、農業に携わる若者が少ないのでなぜか、また若者を増やすための取組はあるか
- ・日本や世界で「一番良い」と思っている場所はどこか
- ・自分たちにできることは何なのか
- ・海のない岐阜に住んでいるからこそ、できることは何なのか
- ・これからさらに学んでいくとよいことはどんなことか

質問や疑問がたくさんあってすいません。すべてにお答えいただくても良いので、講話の中に少しでも入れていただきか、講話の後で質問させていただくので、答えていただけるとありがとうございます。宜しくお願いします。

肥田・石井